



今の若者や子どもたちは、生まれたときから豊かな物に囲まれて育ってきました。欲しいと思った物は、たいがい手に入るし、飽きてしまえば何のためらいもなく捨ててしまふような恵まれた生活です。

しかし、物が豊かなだけでは幸せになれないことは、誰でも知っているはず。子ども達の幸せな未来を考えたとき、子ども達にとって本当に必要なものは、『生きる力』ではないでしょうか。

人間は成長に応じて学ぶ事柄があり、その時期でなければ学べないものもあります。

「鉄は熱いうちに打て」と昔から言われていますが、事柄によっては早い時期に、生きていくうえでの知恵や、生きていくために必要不可欠なものや、それを教えるのが親や社会の役目です。

たとえば、人の迷惑を考えず人のいやがることを平気ですべてしてしまう子がいます。自分が主張し行動するのと同じように、他の人にも「やりたい」と主張する権利があること、ときとして我慢することもあるんだ、ということなどを教

え論していく必要があります。

人間が生きていくうえでの基本的なまじりや行動、礼儀、言葉づかいなどは、幼いうちから何回も繰り返し言葉できちんと教え、繰り返し実践させることで自然にできるように育てたいものです。子どもが最初に出会う社会は家庭です。家庭では、人が生きていくうえで最も大事な土台(生活能力)を小さなうちから身につけさせることが大切です。

勉強はできるけれど一人では何もできない子どもに、あわてて生活能力を身につけさせようとしてもうまくいきません。人間として生きていくうえでの基礎的・基本的な規律を教え、子どもが自分で考え、決定し、実行していく力を身につけさせることが『生きる力』の基盤です。

また、物があふれた今、子ども達に「我慢する心」を育てることは容易なことではないでしょう。しかし、期限を切つて待たせたり、お金のありがたさを教えたりすることで、我慢する力は育ちます。親は欲しがる物を与えるのではなく、必要な物を与える見極めが大切です。

将来、子ども達が生きていく社会をよりよくするために、親の愛情と知恵を子どもにたっぷり注いであげましょう。

城下町奉行だより

「家出少年の早期発見を」

例年、夏休みが終わった9月から10月にかけて家出をする少年が増加しています。

昨年は、この時期に10人を超える家出少年の捜索願がありました。家出の主な原因は、遊び癖からの放浪癖、親子関係の不和、学校嫌いなどです。

少年は、心身とも未成熟で判断能力に乏しいため、家出中に非行に走ったり、言葉巧みに近づく大人(暴力団)の誘いに簡単に乗せられ、薬物を使用したり、性犯罪の被害者になるなど、悲惨な事犯が多く発生しています。

このような事犯を未然に防止するには、まず、少年の生活態度の変化に気を配り、前兆的な行動を見逃さず、早期に手当をすることが大切です。

また、深夜一人でうろついているなど不審な行動をしている少年を見かけたら「一声」掛けるなど、不審な少年の早期発見にご協力をお願いします。

問合せ

山梨県警察本部生活安全企画課  
055(235)2121

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

インフルエンザの予防接種を受けましょう

今年初めに世界的な流行を起こして問題になったSARS(重症急性呼吸器症候群)とインフルエンザは、感染初期の症状が大変よく似ています。

特に、SARSについては未だ解明されていない点が多く、今冬に再度流行する可能性も指されています。

インフルエンザと同時に流行した場合、発熱、咳などの症状が出ても区別がつきにくいと考えられています。医療現場が混乱したり、受診までに時間がかかり、インフルエンザの拡大が懸念されます。そのため、私たちにできる有効な対策は、インフルエンザの予防接種を受けることです。

より多くの人が接種し、SARSとの紛れ込みを早期に鑑別して、流行を抑えることにあります。冬季の流行が始まってから接種しても、ほとんど効果は期待できません。

なるべく年内に予防接種を終わらせるようにしましょう。高齢者や乳幼児およびその家族の方は、特に接種をお勧めします。

臓器移植について

臓器の移植に関する法律が、平成9年10月施行されています。国では、法が施行された10月を、「臓器移植普及推進月間」と定め、より一層の臓器移植への関心を高めてもらう月とされています。

臓器移植とは、臓器の機能が低下したり、あるいは機能が不全状態になり、移植でしか治療できないひとのための唯一の根治療法です。臓器移植は、あなたの善意の臓器の提供があつてこそ成り立つ医療ですが、「あげたい」「あげたくない」などという意思も尊重されます。大切な家族とよく話し合つて自分の意思を表示しておきましょう。

臓器移植に関しては、15才以上の者で書面により意思表示をしていことが、最も基本的な条件になっています。

そのためには、「臓器提供意思表示カード」をいつも自身身につけておくもの、例えば運転免許証などといっしょに保管し、携帯することがあなたの意思が一番伝わりやすいのではないのでしょうか。